



今年も7月3日から求人票受付が始まります。3年生の就職希望者は9月16日からの採用選考試験に向けて、約1か月半という短い時間で重要な選択をしなければなりません。

いよいよ求人

求人に先駆けて、4月から6月にかけて多くの企業の方が米工を訪問されました。企業の求人動向や業務内容、就職希望者がどれくらいの人数であるかなどの情報交換を行うのですが、そこで感じたことは、どの企業も人材不足に危機感を持っているということです。昨年度の採用活動の結果、採用予定数に達しなかったという企業が多くありました。また、これまで地元の高校生で採用人数を満たしていたが、地元では集まらなくなったので、遠い県まで出向いて採用活動をせざるをえなくなり、米工に初めて求人を出したいという企業もありました。

6月26日朝のNHKニュースでは、『働き手クライシス～「インフラ人材」危機』というタイトルで、社会インフラを支える人材不足が危機的状況にあるという報道がされました。その原因として、工業高校出身者が社会インフラに関わる技術者（電気主任技術者 電気工事士 港湾労働者 自動車整備士 水道技術者 保線従事員など）として仕事に就かなくなったとのことでした。このまま人材不足が続くと経済活動が止まり、電気・ガス・水道など、これまで当たり前にあると思っていたものが当たり前でなくなるかもしれません。いかに工業高校出身の先輩方が社会を支えているかということ改めて実感できます。

6月25日に国内寄港最大級のクルーズ船「MSCベリッシマ」が境港に着岸しました。全長約316m、夢みなとタワーよりも高い巨大な船を見ようと大勢の見物客が集まりました。巨大な船は、自分だけでは着岸できません。タグボートと呼ばれる小さい船が一生懸命に巨大な船を押したり引いたりしてやっと着岸できます。巨大で豪華な船体に目を奪われ、おそらく誰もタグボートは見えていないでしょう。でも、乗客が上陸して観光に行ったり、見物客が巨大な船を見て感動できるのはこの小さい船のおかげなのです。

現在、工業高校の生徒は社会に求められており、期待も大きいと感じます。おそらく、3年生にとっての選択肢も複数あるでしょう。進路決定の際には、すぐ目につく巨大さや豪華さにとらわれることなく、普段目にする事のないタグボートのような仕事にも視野を広げて、自分に最適なものを選んでほしいと思っています。

進路指導部 坂根 大司



【行事予定】7月3日(月)：求人票受け付け開始 ギター社会人講師授業(1年)

7月5日(水)：壮行会

7月8日(土)～7月24日(月)：全国高校野球選手権鳥取大会(米子市)



米工 HP